

〈特集〉

中国泉州産業クラスターの発展と事例分析

呂 慶華*

I. はじめに

産業クラスターは産業発展から生じた地縁現象である。すなわち、相互に関連（補完、競争）する企業と機関は一定の地域内に集積し、川上、川中、川下の一連の構造（原材料から流通チャネル、最終消費者まで）が整えた。集積外の関連産業システムが完備され、集積内の企業は緊密な協力関係を構築し、高度な専門化分業を通して、すべての企業の効率を高めた。産業クラスターの核心は企業間および企業とほかの機関間の連携・補完である。このような関係は規模の経済の獲得、垂直一体化企業間の連携、イノベーションの実現に有利である。

II. 泉州産業クラスターの現状

1. 泉州産業クラスターの規模

泉州の産業クラスターは企業、資金、技術、人材、情報、市場、関連サービスの集積である。違う類型の企業およびその製品、サービスは競争・協力を通して、コストの削減、品質の向上を実現した。現在泉州には18の規模の産業クラスターが形成されており、4万社あまりの関連企業を有し、生産高が1,400億元を超えた(表1参照)。

2. 泉州ならではの特色ある産業クラスター

改革開放30年以来、泉州は中国東南沿海地域経済のスポットライトとなってきた。泉州商

表1 泉州産業クラスターの規模

規模	数	産業クラスター名
100億元以上	5	泉港化学工業産業クラスター、石獅晋江アパレル産業クラスター、晋江運動靴産業クラスター、南安石材産業クラスター、泉港石油化学産業クラスター
30-100億元	9	徳化工芸陶磁器産業クラスター、磁灶建設用陶磁器産業クラスター、恵安大理石彫刻産業クラスター、安溪ウーロン茶産業クラスター、泉州樹脂工芸産業クラスター、南安水道配管機材産業クラスター、羅山キャンディ食品産業クラスター、安溪藤鉄工芸品産業クラスター、南安光電産業クラスター
10-30億元	4	東石傘産業クラスター、安海おもちゃ産業クラスター、江南電子産業クラスター、鯉城スーツケース産業クラスター
合計	18	

資料：泉州各地区政務ネット（2008）より作成。

*華僑大学工商管理学院教授

人は「華僑の故郷」の立地優位と勤勉精神を活かし、社会主義市場経済メカニズムを率先に実践して、晋江の「中国靴都」、石獅の「中国アパレル城」、南安の「中国石材城」、徳化の「中

国磁都」、安溪の「中国茶都」などの国内外有名な産業クラスターを創出した。各産業クラスターには数多くの著名企業が集積している（表2参照）。

表2 泉州ならではの特色ある産業クラスター

産業クラスター	地域ブランド	著名企業	企業数	集積地域	生産高(元)
靴産業クラスター	中国靴都	安踏、寰球、喜得龙、匹克、德尔惠、贵人鸟、特步、鸿星尔克	3000軒 あまり	晋江東部	395億
アパレル産業クラスター	中国アパレル城	柒牌、劲霸、九牧王、七匹狼、卡宾、斯得雅、爱登堡、大帝、西域骆驼	3000軒 あまり	石獅、晋江	500億 あまり
石材産業クラスター	中国石材城	远达、宗艺、广泰祥、顺兴、利丰、福顺、盛达	2500軒 あまり	南安	230億 あまり
食品産業クラスター	中国食品工業強県	亲亲、达利园、可比克、蜡笔小新、雅克、喜多多	2000軒 あまり	晋江中部	73億 あまり
陶磁器産業クラスター	中国瓷都	得盛、创意、鸿星、必胜、双全、家祥、金胜	1600軒 あまり	徳化	69億 近く

資料：泉州政務ネット（2008）より作成。

泉州商人は海洋文化の中で育った。過酷な生存環境は泉州商人の頑強、正直、包容の精神を生み出した。環境がどう変わろうと、彼らはいつも頑張り続けている。ビジネスの世界において、泉州商人は正真正銘の実践者と言える。彼らは黙々と努力しつつ、自らの事業を開拓し、富を生み出した。

III. 泉州産業クラスターの特色

資源条件などの制限を受けて、泉州の多くの民営企業は「市場—技術—原材料」のルートを辿っている。企業はターゲットを決めた後、技術者を雇い入れ、最後に市場から原材料を購入し生産を組織した。模倣と競争を通して、次第に川上、川中、川下産業チェーンが形成され、

ある地域内で専門市場が現れてきた。泉州産業クラスターの特色は下記のとおりである。

第一、地域ブロックとして発展。泉州の産業集積は「一村一品、一鎮一業」という発展特色が見受けられる。例えば、泉州の靴産業クラスターは主に晋江東部に集中しており、現在は3000軒の企業があり、年間生産額は395億元近く。一方、アパレル産業クラスターは主に石獅、晋江に集中し、現在3000軒あまりの企業は年間500億元を超える生産額を創出している。石材産業クラスターは主に南安に集中し、現在の石材企業が2500軒あまり、産業年間生産額は230億元あまり。食品産業クラスターは晋江中部に集中し、現在は2000軒あまりの企業を有し、業界全体の年間生産額は73億元あまり。陶磁器産業クラスターは主に徳化に集

中し、現在の陶磁器生産企業は 1600 軒あまり、業界全体の年間生産額は 69 億元近くである。

第二、産業連携。産業クラスターは泉州の伝統的な製造業産業チェーンを拡張させた。たくさんの貿易企業は泉州市の原材料市場に進出しており、関連サービス企業が数多く出現した。例えば、泉州市の靴産業では、革、靴材料、化学原料、製造機械など一連の関連工場が進出している。繊維・アパレル産業においては、裁断、ファスナ、織物、染色、アパレル生産など一連の工程システムが構築されている。20 世紀 80 年代末から、泉州には原材料の卸売、小売、物流、製造機器展示販売などを含んだ専門的な靴原材料市場が形成された。原材料の年間取引額は 80 億元を超え、多くの靴メーカーは泉州域内で生産から販売までの全工程を完成させた。産業クラスター内の大規模企業は委託加工、分業協力を通して、生産コストの削減を実現した。

第三、龍頭企業。産業クラスターは龍頭企業の形成と発展の基盤を作り上げるとともに、競争で勝ち抜いた龍頭企業は産業チェーンの拡張と関連産業の完備を加速させ、産業クラスターのさらなる発展を促進させてきた。

第四、技術イノベーション。産業クラスター内各経営主体は競争と協力を通して、企業の技術イノベーションを促進し、製品の技術度を高めた。

IV. 泉州産業クラスターの発展経験

泉州産業クラスターは産業チェーンに沿って分業・協力し、生産を組織する。規模が大きいため、地域競争力を効率よく高めており、泉州の社会経済を発展させる重要な要素となってきた。泉州の地域生産システムの構築は、企業の創立、産業の形成、産業クラスターの発展を経

験してきた。各地に立地している工業団地から都市工業ベルトへ、泉州の工業製造基地が建設された。一般下請け加工からブランド下請け加工、さらに自主ブランドを創出へ、泉州は「ブランドの都」となった。泉州産業クラスターのよい経験を下記のようにまとめることができる。

第一、政府機能の合理化。泉州政府の経済機能は、経済発展トレンドを把握し、企業の干渉をしない；企業成長環境の改善に力を入れ、簡易に優遇政策を与えない；企業の自主イノベーションを積極的に引導し、不適切な補助をしないという三つの原則がある。

泉州政府は企業発展の戦略的パートナーである。泉州市は企業が市場経済の主体、政府が公共サービスの主体と考え、市場経済メカニズムに基づき、資源配置の基礎的な役割を活かしてきた。地域経済の発展と社会責任の分担において企業の戦略的パートナーとなった。

泉州政府はよい産業環境の構築に力を入れてきた。資源の最適配分を実施するほか、イノベーションを奨励し、分業・協力を促進してきた。また、産業集中度、業界集中度と空間集中度はもちろん、産業関連度の向上にも重視し、企業主、経営管理者と従業員の質を高めるよう力を入れてきた。企業の経営、制度、技術および文化イノベーションを引導し、産業クラスターの競争力を強めてきた。

さらに政府はインフラ建設に力を入れてきた。電子商取引プラットフォームの構築を強く押し進めてきており、企業と国際市場間の情報ネットワークを構築して、産業クラスターの発展に相応する物流システムとサプライチェーンを形成した。と同時に、金融体制改革を積極的に模索し、融資コストを下げ、サービス品質を向上した。仲介組織の発展を奨励し、インフラ施設と都市建設を強めて、クラスター発展のた

めに共有できるハード資源を作り上げた。

第二、産業クラスターの形成の模倣性。泉州産業クラスターは市場リード型、龍頭企業リード型、ブランドリード型、工業ベルト依存型、資本依存型などの類型がある。一部の泉州商業先覚者はある業界で成功を納めた後、周辺の商業者は相次いで真似するという形成プロセスがよく見受けられる。真似する人が多くなれば、必ず競争を引き起こし、競争は整合と優勝劣敗をもたらしてくる。真似、競争、整合が繰り返して、一部の規模の大きい企業が勝ち抜き、自社ブランドを創出し、業界中核となり産業龍頭を構築した。よって、多くの中小企業の発展を引き起こし、企業経営から産業経営への転換を実現させた。生産コストの削減と技術レベルの向上を実現するために、多くの企業は核心業務以外の部分をアウトソーシングした。したがって、大量の専門化メーカーが出現し、産業チェーンがさらに延長された。

第三、産業クラスター発展の段階性。泉州産業クラスターの発展は、企業が出現し次第に自発的に形成された段階、企業が分化し龍頭企業、ブランド製品が出現した段階、政府が意欲的に育成、引導した段階を辿ってきた。現在、泉州産業クラスターの発展は前二段階を経て、第三段階に向けて発展していくところである。

アメリカ経済学者スコット (Scott Anderson) は当面の世界経済版図において、たくさんの産業クラスターが存在しているため、カラフルな区分がはっきりしている「経済モザイク」が形成され、世界の富の多くはこれらのブロックエリア内で創造されたと指摘した。泉州産業クラスターの集積効果は泉州の社会経済発展に対して大きいな推進作用を果たし、他の地域の社会経済発展にも示唆できる。

V. 泉州産業クラスターの発展戦略

産業クラスターは特定な地域範囲内に大量の関連企業が集まり、共同投資で投資リスクを削減、科学研究資源と生産設備を共同で使用することを通して、規模の経済優位の発揮、産業競争力の向上、経済情報流通の加速、取引コストの削減、クラスター効率の向上を実現することができる。しかしながら、現在泉州産業クラスター内における産業間、企業間競争の激化、連携の不足などの現状から、産業クラスターの優位が十分に発揮できない。筆者は以下の四つの発展戦略を助言したい。

第一、比較優位に基づき、特色のある産業クラスターを発展すること。比較優位は特色から生み出す場合が多い。ある地域の経済発展はすべての産業部門で優位を確保することができない。資源を産業クラスターへ合理的に配分し、その利用効率を高めることが肝心である。それゆえに、ある地域はハイテク産業を発展するかどうかは問題ではなく、比較優位に基づいて産業、技術を選択し、さらに地域専門化分業と産業クラスターを形成して、地域特色に適応するとともに、比較優位が発揮できる地域産業発展資源を有効に利用できる競争優位を形成することが肝心である。実践が証明できるように、地域比較優位に基づいて、ハイテクと地域知識技能（例えば産業特定技術要素等）を結びつき、伝統産業における資源使用率を高めれば、活力あふれる高速経済成長地域が形成できる。

第二、産業クラスターにおける大手企業の中核的な役割を重視し、大手企業が主導する垂直一体化の分業ネットワークを構築すること。大手企業が主導する連携分業システムにおいて、中小企業は大手企業を補助し専門化生産を実施する。自身の限りある資源をある特定の細分市

場あるいは製品に集中して、部品の提供ないし工芸加工を専門的に従事する。企業の生産経営能力を強化することは核心競争力の創出に役立つ。大手企業はバリューチェーンにおける付加価値のある工程だけを自社で生産し、中小企業へのアウトソーシングを通して、専門技術を有する中小企業を関連企業として吸収し、産業全体の技術レベルを高めることができる。泉州の事例から分かるように、大手企業を中心とする垂直一体化分業システムを構築し、産業間分業は企業内分業に取って代われることは、産業全体の効率向上、地域産業競争力の強化につながる。

第三、大手企業を中心としたブランドを立ち上げ、地域産業のターゲットを広める。有名ブランドを創出するには巨額の資金が必要なため、大手企業を中心に、M & A、持ち株などより、生産技術レベルの高い中小企業を吸収し、ブランドクラブを立ち上げ、中小企業はイノベーションを通して、ブランドクラブの無形資源の共有、投資費用の削減、地域ブランド製品の市場供給能力の向上、地域産業競争力の強化ができる。泉州政府の引導のもとで、大手企業は有名ブランドを主幹とし、固有の産業資源を利用して産業競争力を強化することが可能である。例えば、晋江市の陳埭鎮は安踏、别克、特步などの有名ブランドがあり、20数名のタレントはイメージキャラクターを務めており、中国の中央テレビだけで年間2億円の商業費用を投入している。形式が異なるブランドクラブを立ち上げれば、自主ブランドを有していない商品品質の高い企業もブランドの無形収益を共有することができ、商品付加価値の増加、広告費用の削減、プロモーションコストの低下、製品競争力の強化もできる。

第四、合理的な制度システムを確立し、地域

産業の長期的な競争力を確保する。産業クラスターの競争力を持続するためには、完全に市場を依存するのではなく、共同的な行動基準として合理的な制度枠組みの構築が必要である。泉州産業クラスターの発展状況からみると、正規契約の有効な締結を中心とする制度規程、および正規契約の有効な締結・実行を保証する公的機関の発展遅れは、産業クラスターの持続的な発展を制約する重要な要因である。泉州はインフラの整備に力を入れ、産業政策の実施、市場秩序や制度の整備、社会的サービスシステムの確立などを通して、産業技術の発展を推進し、地域産業競争力を強化する必要があると思われる。

(黄淑慎訳、本誌編集委員会監修)

参考文献

- 刘荣利「我国产业集群的发展经验」『牡丹江大学学报』2009年1月。
- 梅丽霞・柏遵华・聂鸣「试论地方产业集群的升级」『科研管理』2005年9月。
- 何福龙「福建省产业集群的现状及其嵌入性研究」『厦门科技』2006年6月。
- 张沛中・张奇智「产业集群:发展我国体育用品产业的战略选择——以福建晋江运动鞋产业集群为例」『福建体育科技』2005年2月。
- 谢立新「产业集群产生和演进:泉州的实践和思考」『发展研究』2003年11月。
- 王秉安「产业集群竞争力构成要素模型研究——以晋江运动鞋产业集群为例」『福建行政学院福建经济管理干部学院学报』2005年2月。